

どすこいかわら版

発行 墨田区 編集 NPO法人てーねん・どすこい倶楽部

墨田の元気なシニア

エンジョイ家援隊 第三地区地域実働リーダー古山智代さん

いくつになっても、自分の住み慣れたまちで暮らし続けたい：そう思われる方も少なくないのではないのでしょうか？

ただ、年を重ねるごとに、身の周りのことをするのに、人の手助けが必要な場面も増えてくるはず。

そんな困ったとき、頼れる「助っ人」がいます。墨田区シルバー人材センターに所属する「エンジョイ家援隊」です。

エンジョイ家援隊は、文字どおり、楽しみながらお客様の家事のお手伝いをする集団です。

今回は、エンジョイ家援隊で地区リーダーを務めて



いらつしやる、古山智代さん(74歳)に様々なお話を聞きました。

☆隊員の様子は？

女性の隊員が多いというイメージがあると思いますが、男性の隊員も少なくないです。

隊員数は、男女合わせて100人くらいで、年齢は60〜70代が一番多いです。

家事援助のプロとしての自覚を持つために、ユニフォームとしてお揃いのエプロンをしています。

ただし、「楽しむこと」は欠かせないモットーです。☆どんな援助をしていますか？

日常生活の中での、洗濯、床掃除、台所周り・換気扇の掃除、買い物代行、ごみ出し、通院の付添い、庭木の手入れ等です。

男性隊員の場合、重たい家具や粗大ごみの移動をお手伝いすることもあります。☆隊員になるには？

まずは、会員登録をしていただきます。そして、必要な研修を受けたのち、隊員として活動することになります。

研修内容としては、掃除機のかけ方や窓ふき、雑巾のしぼり方等、技術面に関するものと、クレームへの対処法や、お客様目線の重要性を学ぶ接遇に関するものがあります。

☆古山さんがシルバーに加入したきっかけは？
私は仕事が大好きで、40年ほど事務の仕事をしていました。

定年後も仕事を続けたいと思い、シルバー人材センターに登録したのです。当初は、各家庭のポストに配布物を投函する仕事をしました。

地図を片手に対象のお宅を探し、歩いて回る：健康にも良いし、道も覚えられ、外に出ることがとても楽しかったです。

☆家援隊の仕事でうれしかったことは？
普段、プロの家事代行サービスを利用していらっしゃる方がお

宅を掃除した際、「すごく丁寧にしていただいてありがとうございます。」という言葉をいただきました。長年培ってきたことを活かすことができ、とてもうれしかったです。

☎03・3616・5048

◎公益社団法人墨田区シルバー人材センター

※家事援助サービスを利用する際の単価の目安は、1,050円です(1時間あたり)。

※換気扇、エアコン清掃は別料金になります。

子ども

内山 由美子

毎日、一人で静かに?生活している私のもとに、一年に何回か子供が遊びに来る。8歳の男の子と6歳になった女の子の兄妹二人。

この子たちは妹の孫で、一歳にならない頃から遊びに来ている。両親(甥夫婦)と、祖父母(妹夫婦)と、一番多いのは祖母と三人で。

この子たちが我が家に来るようになった頃から、この町が大きく変貌していった。一番大きな変化は、東京スカイツリーが出来た事。

最初は隅田川の花火見物に来ていた。男の子は花火の音に驚いて泣き出したり、大好きな電車が部屋から見えるので、「あつ、電車が来た」「まだ、電車来ないかな」とか言いつつ飽きることなく外を見ていた。大きくなると、興味の対象も移り、来る度に今はどんなことが好きなのかなど私自身も関心を持つよう

になった。

妹が生まれ、その子が2歳の時、スカイツリーが開業した。「大きいねえ」と言いながら見上げていたのが印象的だった。

テレビにスカイツリーが映ると「おばちゃんの家にもあるよね」と言っていたという。最近はその同じものだとわかったようだ。

二人とも文字が読める様になると、エレベーターのボタンを誰か押すかで喧嘩をしている。

家に着くと「おばちゃん紙ちようだい」と言う。紙を渡すとペン立てにある鉛筆で一時、お絵かきをする。文字が書けるようになる」とそこに手紙が添えられるようになった。「子供は3カ月見ないと成長している」と言われたことがあるが、来る度に成長しているのがわかる。

また、すみだ水族館の年間パスポートを持っている。「おばちゃん家に行く」というと、パ

スポーツを首にかけて電車に乗って来る。私と三人で水族館に行く。勝手知ったる〇〇とばかりに自由に動き回っている。特にお気に入りは館内で行われている「イベントコーナー」、毎回違う事が行われているので必ず参加して、作品作りに熱中している。

魚はもちろんだが、ペンギンが好きで、水槽の前でじっと動きを見ている。水族館の中で約一時間の時を過ごし、水族館を出ると必ずソフトクリームを食している。帰った後、妹が子供たちにくと、「おばちゃんの家楽しかった」と聞くと「うん、楽しかった」との返事が返ってくるという。「お姉さん良いところだね」といわれるが、今は「俄かばば」を楽しんでいる。

今度は何時遊びに来てくれるのだろうか」と楽しみにしている。



「シニア人材バンク登録者募集中」

ボランティア活動をしたい方の登録と依頼に応じた派遣を行っています。

パソコン、麻雀、将棋、子育て支援、日本語支援、家事援助、生活支援、健康教室のお手伝い、各種講座、講演会の企画から会場の準備作業など、どなたでも気軽に参加できる、さまざまな活動をしています。

皆様の知識、経験、特技、趣味等を地域で活かしてみませんか?

☆ 墨田区では毎月1日、15日に地域のイベント情報等をパソコンメールで希望者にお送りしています。ご希望の方は、住所・氏名・年齢をメールでお知らせください。件名にメルマガ希望と記入してください。
tehnendosukoiclub@jcom.home.ne.jp

平成27年度 第3回

セカンドステージセミナー



古典からモダンまで!
皆で歌って踊ろう日本舞踊

元気で100歳!!今年も墨田で粋に暮らそう!!

日時:平成27年12月9日(水)午後2時~午後4時
内容:第1部 出演:燐の会(会主 那寿野燐甫)の皆さん
第2部 ■簡単なストレッチ体操 押野康代氏(理学療法士)
■みんなで一緒に歌いましょう 吉岡 リサ氏(歌手)
会場:すみだリバーサイドホール2階イベントホール(墨田区役所内)
参加料:無料/定員:200名 どなたでもお気軽に
申込み:NPO法人「てーねん・どすこい倶楽部」事務局
電話5631-2577(平日午前10時~午後4時)
主催:墨田区 企画・運営:NPO法人てーねん・どすこい倶楽部

平成27年度 第4回 生きがい講座

コーヒーカップに素敵な薔薇を

楽しい粘土フラワー講座

型紙に合わせて粘土で花びらを作り、組み合わせれば、
イメージ画像のような薔薇の花が出来ます。
コーヒーカップに素敵な薔薇の花を咲かせてみませんか?



デコ・クレイフラワー講師 小泉 泰江 先生

日時:平成27年12月16日(水) 午後1時30分~3時30分 (イメージ画像)

場所:すみだ女性センター 第2会議室(墨田区押上2-12-7-111)
費用:材料費1,000円 定員:20名 対象:おおむね55歳以上
申込み・問合せ:NPO法人てーねん・どすこい倶楽部
電話:5631-2577 受付時間(平日午前10時~午後4時)
主催:墨田区 企画・運営:NPO法人てーねん・どすこい倶楽部



発行 墨田区福祉保健部高齢者福祉課
〒130-8640 東京都墨田区吾妻橋1-23-20
電話 03-5608-6168
編集 NPO法人てーねん・どすこい倶楽部
〒131-0044 東京都墨田区東向島1-17-8
電話 03-5631-2577 FAX 03-5631-2578
(平日午前10時~午後4時)

メール tehndosukoiclub@jcom.home.ne.jp
http://members2.jcom.home.ne.jp/tehndosukoiclub/

十月の末に、高野山、
那智の滝、青岸渡寺、
熊野大社等を回ってき
ました。昔行った場所
も多く、懐かしくなり
ましたが、各地、階段
が多く苦労しました。
以前は気にならなかった
のに、年を取った証
抛ですね。

編集後記